

報道機関への情報提供

項 目	三陸観光フォーラム 2023 の開催について
日 時	令和5年11月18日(土) 第1部(14:00~17:00)、第2部(17:30~19:30)
場 所	第1部:大船渡市魚市場多目的ホール(大船渡市大船渡町字永沢209) 第2部:海の幸ふるまいセンター(大船渡市大船渡町字笹崎3-6)
内 容	<p>【趣旨】 三陸沿岸道路全線開通を活かし、三陸の魅力発見や、交流人口・関係人口の拡大につなげるため、地域の関係者が連携し、「三陸ジオパーク」、「みちのく潮風トレイル」、「震災学習」などの観光資源を活用した三陸の観光や旅の魅力を広く発信することを目的に、「三陸観光フォーラム2023」を開催します。 開催に係る周知及び当日の取材についてよろしくお願いたします。</p> <p>1 開催概要 (1) 第1部 三陸観光フォーラム ア 時間 14:00~17:00 イ 会場 大船渡市魚市場 多目的ホール ウ 内容 ・観光地域づくりと地域資源の活用についての専門家による講演 (講師) 一般社団法人 Clan PEONY 津軽 事務局次長 前田秋子 氏 ・デジタルマーケティング調査及び県観光統計から読み解く三陸地域の観光動向についての報告 ・大船渡市・陸前高田市・住田町の観光関係者によるパネルディスカッション</p> (2) 第2部 三陸 食の交流会 ア 時間 17:30~19:30 イ 場所 海の幸ふるまいセンター ウ 内容 三陸地域の食材の魅力発信と地域や関係者間の交流機会をつくるもの 2 主催 公益財団法人さんりく基金 3 後援 一般社団法人大船渡地域戦略、大船渡市、陸前高田市、住田町、岩手県沿岸広域振興局 4 フォーラム及び交流会の参加申込 (1) 対象 観光事業者、商工・農林水産事業者のほか、地域住民の皆様も参加可能 (2) 参加費 ア フォーラム:無料 イ 交流会:5,500円(飲み物込・税込) (3) 申込方法 フォーラム及び交流会ともに、事前にオンライン申込フォームから申し込みが必要です。 専用フォーム https://forms.gle/18LHsuRCV2a6fQBL9 (4) 申込期限 令和5年11月13日(月) ※ 定員に達した場合、期限前でも受付終了となる場合あり 5 その他 関連イベントとして、11月18日(土)、19日(日)に、三陸の観光や旅の魅力発信を行う団体の主催によるエクスカッションが開催されます。詳しくは、以下の公式HPを御覧ください。 【さんりく旅するべ〜いわて三陸観光ガイド〜】 https://sanriku-travel.jp/archive/p20231003092816
取材時の留意点	特になし。
問合せ先	公益財団法人さんりく基金 DMO事業部(三陸DMOセンター) 三陸DMOセンター長 中野 文男 事務局員 北田 耕嗣(電話:0193-77-5760) 大船渡地域振興センター 地域振興課長兼復興推進課長 大山 博幸 主事 小野寺 誠(電話:0192-27-9911)

三陸観光 プラットフォーム

2023

三陸ならではの観光資源や
体験コンテンツ等を活かした
観光地域づくりの意識醸成を
図るため、専門家による講演や
地元有識者とのトークセッション、
三陸地域の食材を使用した食の
交流会を行います！

詳細・参加申し込みはこちらのQRコードから ▶▶



第1部 観光フォーラム

参加無料

事前登録制

開催時間 14:00-17:00 / 会場：大船渡市魚市場多目的ホール

【観光地域づくりと地域資源の活用についての専門家による講演】

講師 一般社団法人 Clan PEONY 津軽 事務局次長 前田秋子氏

【デジタルマーケティング調査及び県観光統計から読み解く三陸地域の観光動向】

【大船渡市・陸前高田市・住田町の観光関係者によるパネルディスカッション】

パネリスト 大船渡市：(一社)大船渡地域戦略 理事長 志田繡隆氏 / 陸前高田市：(一社)陸前高田観光物産協会事務局長 兼久保博夫氏 / 住田町：住田観光開発(株)代表取締役専務 千葉孝文氏



講師：前田秋子氏



大船渡市魚市場

第2部 三陸食の交流会

参加費：5,500円(税込/飲み物込)

事前登録制

開催時間 17:30-19:30 / 会場：海の幸ふるまいセンター

三陸地域の食材の魅力を発信する場とするとともに、地域間の交流を図る。

問い合わせ・申込先

公益財団法人さんりく基金

DMO事業部 (三陸DMOセンター)

TEL 0193-77-5760

Email info@sanriku-travel.jp

担当：北田・金野

〒027-0072 宮古市五月町 1-20

宮古地区合同庁舎 2階

事前に公式HPさんりく旅するべ(sanriku-travel.jp)内の申し込みフォームから申し込みをお願いします。

2023年11月18日(土) 会場 | 大船渡市魚市場 多目的ホール

18日・19日、関連イベント開催！ 「碓石海岸ジオさんぽ」「仮設住宅体験」「滝観洞ツアー」etc…
詳細はQRコード先の公式HPをご確認ください！

主催：公益財団法人さんりく基金 / 後援：一般社団法人 大船渡地域戦略、大船渡市、陸前高田市、住田町、岩手県沿岸広域振興局

※当日は予定のプログラムに変更が生じる可能性があります。最新の情報については公式HPをご確認ください。参加者の方にはイベント詳細および会場の詳細について、事前にメールにてご連絡いたします。

報道機関への情報提供

項 目	「岩手・宮城県際マルシェ in 仙台泉プレミアム・アウトレット」の開催について
日 時	令和5年11月18日(土)、19日(日) 両日午前10時から15時まで
場 所	仙台泉プレミアム・アウトレット(宮城県仙台市泉区寺岡6-1-1)
内 容	<p>【趣旨】 11月18日(土)及び19日(日)仙台泉プレミアム・アウトレットを会場として、岩手・宮城県際マルシェを開催しますので、周知いただきますようお願いいたします。</p> <p>岩手県と宮城県との県際地域(大船渡、一関、栗原、登米、気仙沼)では、広域観光の推進を図るため、平成22年から観光団体、市町及び県出先機関による「岩手・宮城県際広域観光推進研究会」を設置しています。</p> <p>当研究会では、当該地域の地場産品の展示・販売及び観光PR等を目的に、県内外から多くの観光客が集い、高速道で県際地域へのアクセスも良い宮城県仙台市においてマルシェを開催します。</p> <p>当日は、気仙地域をはじめ県際地域の美味しい食材・地場産品の展示・販売、観光パンフレットの配布のほか、わんこきょうだい「うにっち」や世界遺産平泉宣伝部長「ケロ平」、仙台・宮城観光PR担当課長「むすび丸」等が参加し、地域の観光PRキャラクターとの記念撮影会やじゃんけん大会、PRキャラクターグッズ等が当たるお楽しみ抽選会も行います。</p> <p>岩手・宮城県際地域の観光・物産・郷土文化をまとめて、食べて、知っていただくまたとない機会ですので、紙面での周知等、よろしく願いいたします。</p> <p>1 日時等 令和5年11月18日(土)、11月19日(日) 10時から15時まで</p> <p>2 場所 仙台泉プレミアム・アウトレット(宮城県仙台市泉区寺岡6-1-1)</p> <p>3 主催 岩手・宮城県際広域観光推進研究会(事務局:宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所)</p> <p>4 当センター管内からの出店事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ さいとう製菓(大船渡市) ・ 大船渡市 <p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 岩手県からは、わんこきょうだい「うにっち」と世界遺産平泉宣伝部長「ケロ平」が記念撮影会、じゃんけん大会、お楽しみ抽選会等に参加します。 ・ 詳細は別紙チラシをご確認願います。
取材時の留意点	・ 特になし
問合せ先	大船渡地域振興センター 地域振興課長兼復興推進課長 大山、主査 熊谷(電話:0192-27-9911)

South IWATE North MIYAGI Marché

岩手・宮城 県際マルシェ in 仙台泉プレミアム・アウトレット

南いわてと北みやぎの
観光・物産・郷土文化
食べて、
知って、
来てみて!



いわてとみやぎのキワをキワめる!

2023
11/18 SAT ▶ 11/19 SUN
10:00 -----> 15:00

イベント情報は
こちら↓



当日は、観光PR
キャラクターとの
記念撮影会や
じゃんけん大会も
あるよ!

〈会場〉

仙台泉プレミアム・アウトレット

(宮城県仙台市泉区寺岡 6-1-1)

主催：岩手・宮城県際広域観光推進研究会

出店

- ◆ 株式会社浄土の郷平泉 道の駅平泉 ワイン・どぶろく・野菜等
- ◆ いわて門崎丑牧場有限会社 すき焼き肉・カルビ・ステーキ等
- ◆ さいとう製菓 製菓(翼竜の玉子・紅茶香かもめの玉子)等 ※18日のみ
- ◆ 大船渡市役所 水産加工品・お菓子・飲料・ゆるキャラグッズ等
- ◆ soeru ドライカレー・焼き菓子等
- ◆ 精進スイーツ結び パウンドケーキ・マフィン・クッキー等
- ◆ yumi.yell 米粉の焼き菓子・ミルクムース・ハーブクッキー等 ※18日のみ
- ◆ 株式会社丸光製麺 ふかひれラーメン・うどん等
- ◆ 株式会社インディゴ気仙沼 天然藍染商品・藍の薬草茶等 ※19日のみ
- ◆ でんでんむしカンパニー あい茶・藍染製品・雑貨等 ※19日のみ
- ◆ (一社) 栗原市観光物産協会 しんこもち・ケールオイル・れんこん等

※出店内容が変更となる場合があります。

問い合わせ先：宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所 地方振興部 (0228-22-2195)



報道機関への情報提供

項 目	鳥インフルエンザ等発生時における集合施設設置に係る実動訓練について
日 時	令和5年11月15日（水）13：30～15：40
場 所	住田町生涯スポーツセンター（住田町下有住字中上291番地）
内 容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【趣旨】 鳥インフルエンザ等発生時に円滑な防疫措置を行うためには、迅速な支援員集合施設[※]の設営が必要となることから、集合施設設置に係る実動訓練を行い、必要な備品や動線の確認及びゾーニングの訓練を行うものです。</p> </div> <p>1 日程及び内容</p> <p>(1) 開催日時 令和5年11月15日（水） 13：30～15：40</p> <p>(2) 開催場所 住田町生涯スポーツセンター（住田町下有住字中上291番地）</p> <p>(3) 参加者 岩手県鳥インフルエンザ等発生対応マニュアルに定める大船渡地方支部の各班員、 県南家畜保健衛生所の職員、管内市町関係課の担当職員</p> <p>(4) 主 催 大船渡地域振興センター、大船渡農林振興センター</p> <p>(5) 実施内容</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 集合施設備品の保管場所の確認</p> <p style="margin-left: 20px;">イ ゾーニングの演習及び配置の想定</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ 動線の確認</p> <p>※ 支援員集合施設とは、防疫作業に従事する人員（防疫従事者）が防疫作業に必要な事前の準備を行う場所及び健康調査を行う場所として設置するもの。</p> <p>2 その他</p> <p style="margin-left: 20px;">悪天候等により、訓練内容や訓練自体の変更又は中止をする場合があること。</p>
取材時の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・取材の際は11月13日（月）12時まで下記問い合わせ先に事前連絡願います。 ・別添「大船渡地方鳥インフルエンザ等発生時における集合施設設置に係る実動訓練実施要領」参照のこと
問合せ先	<p>沿岸広域振興局農林部大船渡農林振興センター 農業振興課長 渡邊嘉紀、主査 佐々木忍 (電話：0192-27-9914 内線365) 平日8：30～17：15</p> <p>沿岸広域振興局大船渡地域振興センター 総務課 管理主幹兼総務課長 千田邦博、主任主査 佐々木哲 (電話：0192-27-9931 内線204) 平日8：30～17：15</p>

大船渡地方鳥インフルエンザ等発生時における集合施設設置に係る実動訓練実施要領

1 目的

鳥インフルエンザ等発生時に円滑な防疫措置を行うためには、迅速な支援員集合施設の設定が必要となることから、集合施設設置に係る実動訓練を行い、必要な備品や動線の確認及びゾーニングの訓練を行うもの。

2 日時

令和5年11月15日（水）13：30～16：00

3 場所

住田町生涯スポーツセンター（住田町下有住字中上291番地、0192-49-5007）

4 主催

大船渡地域振興センター
大船渡農林振興センター

5 参集者

大船渡地方支部のうち集合施設の設置・運営に係る者及び管内市町の関係課

- 1) 総務・調整班（地域振興センター、県税室、審査指導監）
- 2) 健康・環境班（保健福祉環境センター、保健所）
- 3) 運営班（農林振興センター、農業改良普及センター、水産振興センター）
- 4) 防疫班（県南家畜保健衛生所）
- 5) 管内市町農政担当課

6 実施内容

- (1) 集合施設備品の保管場所の確認
- (2) ゾーニングの演習及び配置の想定
- (3) 動線の確認

7 スケジュール

13：30			会場集合
13：40	～	13：55	挨拶、説明
14：00	～	15：10	集合施設の設置
15：15	～	15：40	振り返り、意見交換
15：40	～	16：00	片付け
16：00			解散

8 持参物

各自、防寒着及び体育館用運動靴を持参のうえ参加すること

報道機関への情報提供

<p>項 目</p>	<p>「けせん地方就農ガイド」の発行について</p>
<p>日 時</p>	<p>令和5年11月17日（金）発行</p>
<p>場 所</p>	<p>大船渡農業改良普及センター</p>
<p>内 容</p>	<div data-bbox="325 607 1497 943" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【趣旨】 大船渡地方農業振興協議会※では、新規就農者の確保を目的にパンフレット「<u>けせん地方就農ガイド</u>」を発行します。 当パンフレットは、気仙地域の農業の特徴や就農までのステップ、先輩就農者のインタビュー等を掲載しており、就農希望者が就農準備から就農までの具体的なイメージを膨らませることができる内容にしました。 市町等の就農相談窓口での配布、県ホームページ「いわてアグリベンチャーネット」に掲載するとともに、就農相談会や各種イベント等での活用を予定しています。</p> </div> <p>※大船渡地方農業振興協議会（会長：佐々木拓陸前高田市市長） 気仙3市町、JA おおふなと、県（大船渡農林振興センター・農業改良普及センター）で構成</p> <p>1 「けせん地方就農ガイド」の概要</p> <p>(1) ページ数：6ページ+支援施策等一覧表 (2) 掲載内容：ア 気仙地域はどんなところ？ イ 就農へのステップ ウ 代表的な農作物 エ 先輩就農者の声 オ 就農チェックリスト カ 活用できる支援情報</p> <div data-bbox="1003 1099 1497 1440"> </div> <div data-bbox="371 1462 1497 1644" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>このようなパンフレット類は、一般的に、県や地域ごとに作成されています。 今回の気仙地方版の発行にあたっては、まずは就農に向けたイメージをつかんでもらうことを主眼に、3市町の農業の特徴や活躍している先輩の姿を紹介するほか、各市町の充実した支援策（別刷り）を見やすく整理しています。</p> </div> <p>2 発行部数 200部 3 配布場所 各市町・JA・県（普及センター）の就農相談窓口 4 その他 上記場所での配布の他、県HP「いわてアグリベンチャーネット※」等でも公開</p> <p style="text-align: center;">※掲載ページ：いわてアグリベンチャーネット > 現地の情報 > 大船渡 U R L : https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/local/ofunato/</p>
<p>取材時の留意点</p>	<p>特になし</p>
<p>問合せ先</p>	<p>大船渡農業改良普及センター 地域指導課長 佐々木真人、技師 平田将大 （電話：0192-27-9918 内線293）</p>



けせん地方就農ガイド

岩手県
大船渡市
陸前高田市
住田町

1 気仙地域はどんなところ？



海・山・川を楽しむ

岩手県の南東部に位置する大船渡市、陸前高田市、住田町の2市1町を「気仙地域」といいます。

気仙地域は、三陸ジオパークの南部エリアで、沿岸部は入り組んだ「リアス海岸」、内陸に入ると宮沢賢治が愛した「種山高原」などの景観、気仙川・盛川の「鮎釣り」など、海・山・川を楽しむことができます。

海岸の入り江では、ホタテ貝やカキ、ワカメの養殖が盛んに営まれており、内陸部では、林業も盛んで良質な「気仙杉」が有名です。

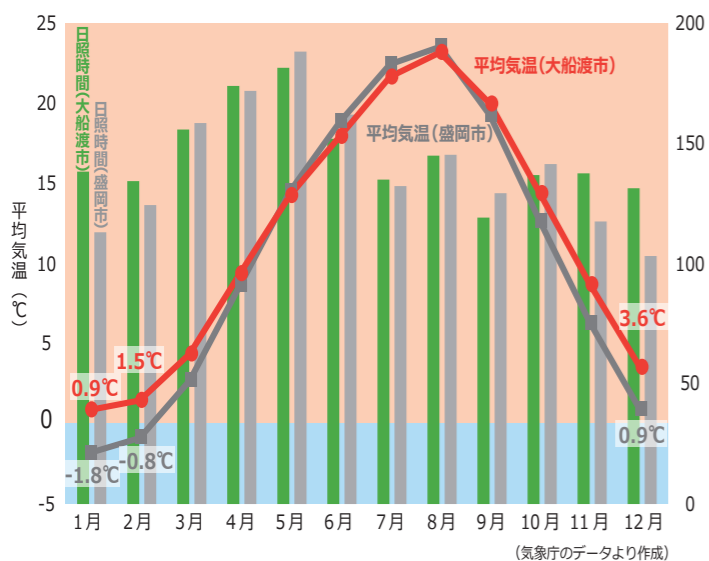


気仙地域は「いわての湘南!？」

この地域は、岩手県内陸部（盛岡市など）と比べて、冬期間の日照時間が長く平均気温も高い地域です。

この地域では、地形的に山地が多く、耕地が限られているという制約はありますが、岩手県内で一般的に行われている水稻や野菜の夏秋栽培等の他、冬期温暖な気象特性を生かした冬春野菜の栽培が行われています。一部地域ではりんご、ゆず、柿などの果樹が栽培されており、「米崎りんご」、「北限のゆず®」、「小枝柿」として販売されています。

また、肉用牛や鶏、豚を中心とした畜産も営まれています。



2 就農へのステップ

STEP 1

就農に向けた情報収集・相談

「どのような場所で就農したいか」、「どのような作物を作りたいか」、「どのような経営をしたいか」を情報収集して考えていきましょう。自分がやっていきたい農業のイメージをしっかりと持つことが大切です。イメージを持つことができたなら相談窓口ご連絡してみましょ。就農したい市町や普及センターに連絡をしてみてください。

✓ 情報収集

インターネットや就農イベントを利用すると便利です。

✓ イメージしておくの良い内容

- 就農の動機
- 農業をする場所
- 用意できる資金
- 経営コンセプト（経営理念）
- 栽培する作物
- 必要な収入

✓ 相談窓口

大船渡市

大船渡市 農林水産部 農林課 農政係

- TEL 0192-27-3111（代表）
- Mail ofu_nourin@city.ofunato.iwate.jp

陸前高田市

陸前高田市 地域振興部 農林課

- TEL 0192-54-2111（代表）
- Mail nourin@city.rikuzentakata.iwate.jp

住田町

住田町 農政課 農業振興係

- TEL 0192-46-3861
- Mail nousei@town.sumita.iwate.jp

就農希望の場所が未定

大船渡農業改良普及センター

- TEL 0192-27-9918
- Mail CE0021@pref.iwate.jp

STEP 2

必要なものを準備

「就農」＝「経営者になる」ことです。経営者に必要なものを準備していきましょう。自分だけではなく、家族や地域の農家、行政機関など様々な人の力を借りる必要があります。自分には、どのような助けがあるのか整理しておきましょう。

✓ 技術習得

就農前に基本的な技術を身に付けておくことが、収入を得るために大切です。色々な研修制度があるので、積極的に利用していきましょう。

✓ 農地

農地の情報は、アパートやマンションの「お部屋情報」のようにインターネットなどですぐに見つけることはできません。また、誰にでも貸してくれるとは限りません。早い段階で、市町の農業委員会に相談しておく必要があります。そして、一番大切なことは、地域の方々との信頼関係です。信頼を得られるよう行動していきましょう。

✓ 就農計画

「就農計画＝経営計画」です。まずは、5年間の計画を作ってみましょう。「欲しい所得」を得るために必要な「経営規模」、「機械・設備」、「資金」、「労力（自分・家族・雇用）」を考えていきます。作る際には、市町、JA、普及センターがお手伝いしますので、自分の経営イメージを膨らませておきましょう。

✓ 資金

営農するためには、「初期投資の資金」、「運転資金」、「生活資金」が必要です。自己資金だけで賄えることが望ましいですが、融資を受けることも可能です。自分で用意できる資金の金額を確認しましょう。

STEP 3

営農開始

「営農を始めたら終わり」ではありません。経営を軌道に乗せるため、積極的に研修会や指導会に参加していきましょう。受け身になるのではなく、自分から積極的に学んでいく姿勢が必要です。

3 代表的な農作物

ピーマン

長期間、安定した収量・収益の確保を目指すならこれ！

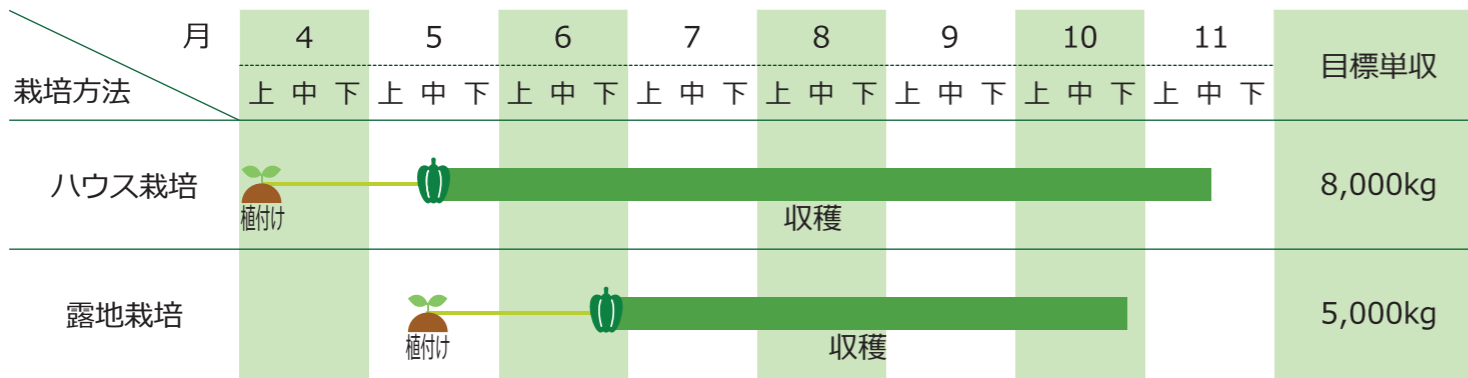
ポイント

- ✓ 気仙地域の温暖な気候を活かし、長期間の収穫が可能！
- ✓ 軽量野菜だから、誰でも作業しやすい
- ✓ 栽培管理が比較的簡単

栽培方法の種類・特徴

- ✓ ハウス栽培 天候に左右されにくく、長期・安定した収量を確保
- ✓ 露地栽培 初期投資が少なく済み、初心者でも取り組みやすい

栽培スケジュール



きゅうり

初期経費が少なく、短期間で高収益が可能！

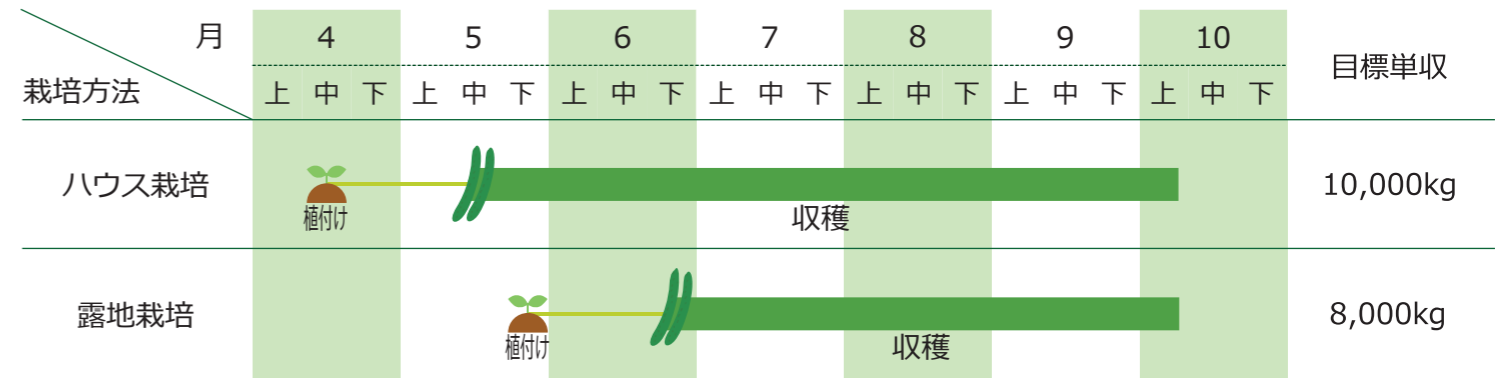
ポイント

- ✓ 収穫までの期間が短く、すぐに販売開始が可能
- ✓ 努力が成果に反映されやすく、長期出荷するほど所得UP
- ✓ 最盛期には、1日2回収穫する必要あり

栽培方法の種類・特徴

- ✓ ハウス栽培 長期間収穫が可能で、小面積で高収益
- ✓ 露地栽培 少ない初期投資で栽培開始が可能。

栽培スケジュール



ミニトマト(アンジェレ)

契約販売のため安定した収益確保が可能！

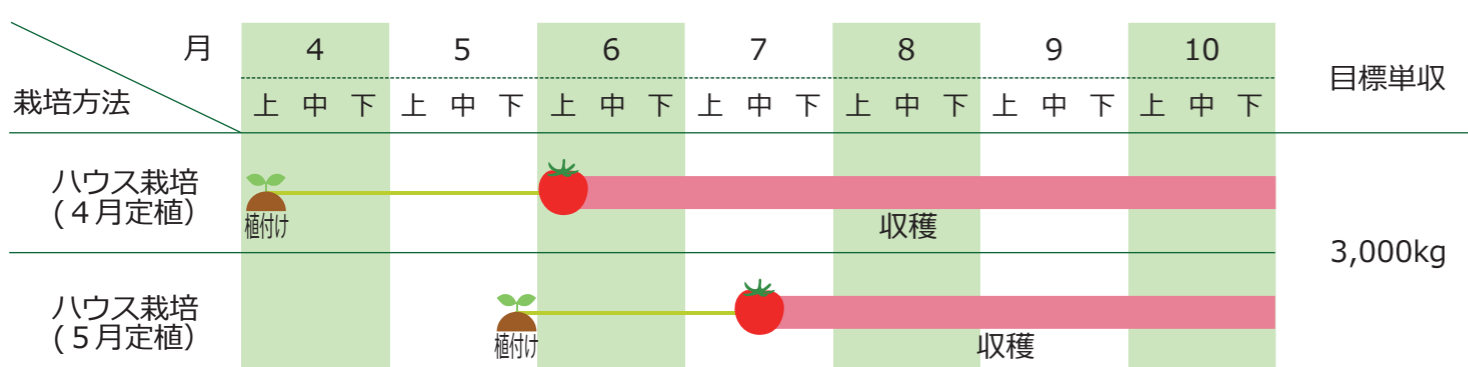
ポイント

- ✓ 全農との契約栽培のため、安定的な収益を得やすい
- ✓ パイプハウスが必要
- ✓ 夏の高温対策、水管理など一定の栽培技術の習得が必要

栽培方法の種類・特徴

- ✓ 4月定植 基本的な方法。長期間収穫が可能で小面積で高収益
- ✓ 5月定植 水稲(育苗)と合わせて行う栽培方法

栽培スケジュール



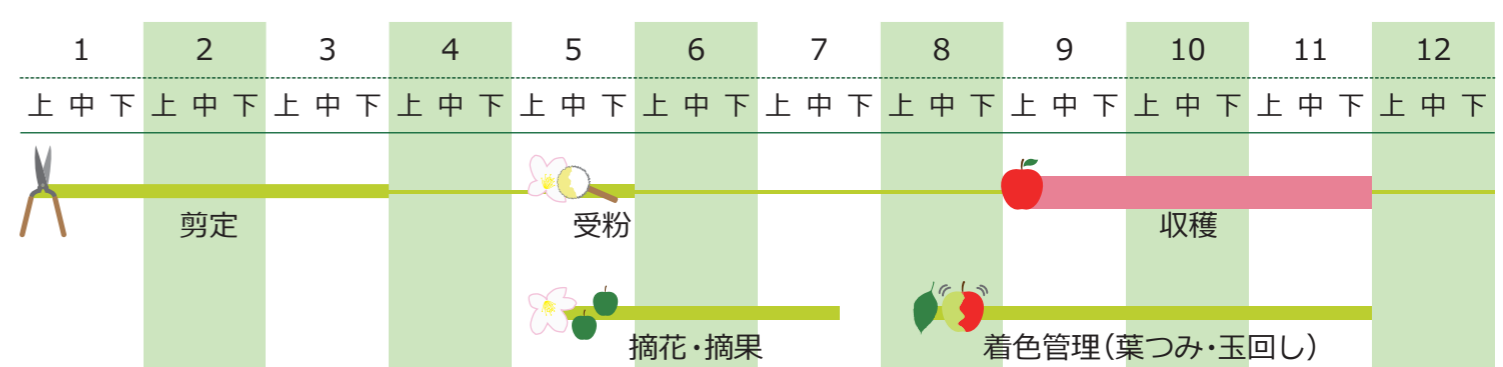
りんご

歴史ある産地で自分のこだわりをカタチにする！

ポイント

- ✓ 同じ樹を大切に育てていく！
- ✓ 日々の管理作業の成果が果実の美味しさというカタチに反映
- ✓ 収穫時期の違う品種を複数組み合わせる栽培
- ✓ 樹を植えてから収穫できるようになるまでに時間が必要なため、経営を譲ってもらおうとスムーズ

栽培スケジュール





吉田 司 さん
(令和3年就農 陸前高田市 りんご)

あの時食べた
りんごの味を守りたい

就農した理由

地元の岩手県立高田高校卒業後、県内外のホテルや飲食業・観光関連の仕事に従事し、飲食業での独立を目指していました。しかし、東日本大震災の際の支援物資の中に入っていた「米崎りんご」の味とその産地の現状を知り、就農を決意しました。

就農後のライフスタイルの変化

就農後の一番の変化は、時間を自由に使えるようになったことです。前の職場であるホテルに勤めていた時は、拘束時間が長く、夜勤もあったため、自由に使える時間が少なかったです。一方、農業は日中しか作業ができないので、夜は割り切って事務作業や子供の世話、趣味に時間を割くことができます。

農業の魅力

自然相手ではどうしてもない時もありますが、自分が手をかけた分の結果が素直にでるところが魅力です。



菊池 悠 さん
(令和3年就農 住田町 ほうれんそうなど)

地域住民の『働き場』の創出に
繋がられるよう頑張りたい

就農した理由

就農前は理学療法士として、県内沿岸部を中心に勤務していました。その中で、家の中で過ごす時間が多く、変化の少ない生活環境が、高齢者の認知機能低下につながっていると感じました。そこで、地域住民の「働き場」の創出が必要と考えて就農を決意しました。

就農後のライフスタイルの変化

就農後のスケジュールは、農産物に合わせたものになりました。一方で、自分のペースで働くことができているため、保育園の行事へ参加するなど育児の時間が確保できるようになりました。また、自分が住んでいる地域との関わりが深くなり、それまで知らなかった地域のことを知ることができるようになりました。

農業の魅力

自分の裁量で働けることです。ただし、その分、自分で考えて動かなければならないので、責任重大です。



就農に向けた「心構え」をチェックし、全てにチェックがつくように準備を進めていきましょう。

- 健康ですか。体力に自信はありますか。
- 農業者は技術者であり、経営者でもあります。経営者（社長）の自覚はありますか。
- 家族は就農に同意していますか。また、協力は得られますか。
- 農業経営の目標は定まっていますか。イメージを家族で共有していますか。
- 経営安定には数年かかります。その覚悟はありますか。
- 収入がゼロでも、最低2年間の生活資金は確保できていますか。
- 経営を開始するために用意できる資金はいくらですか。
- 農業は地域に溶け込むことが必要です。他人との付き合いは苦ではありませんか。
- 実際の農業現場を見学・体験しましたか。
- 就農場所の意向は固まっていますか。
- 栽培する作目の意向は固まっていますか。
- 栽培方法は選択しましたか(露地・施設など)
- 就農場所の気候・土壌条件は目指す作目・栽培方法にマッチしていますか。
- 就農場所の近くには、親身に面倒をみってくれる知り合いの農業者はいますか。
- 就農までの準備内容・段取りは大筋で理解していますか。
- 住宅を確保する目途はたっていますか。
- 農地確保の情報は得ていますか。(借入・購入)



認定農業者 細谷 知成 さん
(平成27年就農 大船渡市 ピーマン・ネギ)

新規就農者から
JAピーマン部会の部会長へ

就農した理由

震災をきっかけに仕事や生活への考え方が変わったことが大きかったです。家族との生活や子供の教育環境など考えると、農業は自分で計画し行動できるため、家族との時間がとりやすく、生活を豊かにできると思いました。

今後の展望

ピーマンとネギを経営の柱に位置付けて、パートさんを有効活用し、経営のバランスをしっかりと確保した上で生産性を上げていきたいです。更にハウス栽培等を組み合わせ単収向上に努めたいと考えています。

先輩から就農する人に向けて

農業だけで生計を立てることは簡単ではないです。しかし、農業は、自分の体を使って自然の中で働けるため、心身ともに充実した生活ができる職業だと思います。農産物の出荷を通して、生産者や消費者とつながりをもてます。自分の力を試すことができる、魅力的な職業ですので、興味のある人はぜひ挑戦してください。



国・県等の支援

研修を受けたい

✔ 独立・自営就農支援研修

- 支援内容 県立農業大学校での座学・実技研修+農家での実践研修
- 研修期間 2年間（就農準備などの理由による期間短縮可能）

✔ 就農準備資金

- 支援内容 研修期間中に資金を交付（150万円/年×最長2年間）
- 対象者 指定の研修機関（県立農業大学校など）で研修中の研修生（就農時に49歳以下、その他条件あり）

経営開始時の資金を確保したい

✔ 経営開始資金

- 支援内容 経営開始から最長3年間資金を交付（150万円/年×最長3年間）
- 対象者 認定新規就農者（ただし、世帯年収が600万円以下などのその他条件あり）

✔ 青年等就農資金

- 支援内容 農業経営に必要な機械・施設・資材などの購入に必要な資金を融資（無利子・返済期間最長17年）
- 対象者 認定新規就農者
- 融資上限 3,700万円（特例で1億円）

機械・設備・施設を導入したい

✔ 経営発展支援事業

- 支援内容 農業経営に必要な機械・施設の導入に係る経費の3/4以内を補助
- 対象者 認定新規就農者
- 補助上限 750万円（経営開始資金の利用者は375万円）

✔ 担い手育成特定資産（新規就農スタートアップ支援事業）

- 支援内容 経営上必要な機械・施設の導入、中古ハウスの移設など費用の1/2を補助
- 対象者 認定新規就農者、就農5年以内の認定新規就農者（申請時65歳未満）
- 補助上限 50万円

大船渡市の支援

大船渡市へ移住したい

✔ 大船渡市移住支援金事業

- 支援内容 東京圏から大船渡市へ移住し、就職・起業する人へ助成
- 対象者 東京23区に在住、または東京圏（一部を除く）に在住し東京23区内へ通勤していて、大船渡市へ新たに移住した人（要件あり）
- 支援金額 60万円（2人以上の世帯は100万円）

家を確保したい

✔ 若者・移住者空き家取得奨励金

- 支援内容 大船渡市空き家バンクを利用した空き家バンク登録物件の取得を支援
- 対象者 39歳以下の方、または岩手県外からの移住者
- 支援金額 30万円

陸前高田市の支援

研修を受けたい

✔ 農業研修支援事業

- 支援内容 生産技術の向上のため、農業研修受講の費用や、農業簿記ソフトなどの導入費用の1/2を補助
- 対象者 農業で生計維持を図ろうとする新規就農者、認定農業者など
- 補助上限 5万円

※ この資料に記載されている支援を受けるためには、上記以外にも条件・募集期間・募集人数などがありますので、各市町村・大船渡農業改良普及センターへお問合せください。

農地の整備をしたい

✔ 小規模土地改良整備事業

- 支援内容 経営規模拡大や機械化農業の推進のための小規模土地改良事業整備工事費用の1/2を補助
- 対象者 10万円以上の工事を行おうとする農業者など
- 補助上限 50万円

施設・資材を導入したい

✔ 振興作物推進事業

- 支援内容 新規・生産拡大として販売用のトマト、いちご、きゅうり、ピーマンの生産に必要な施設・資材の導入費用の1/2を補助
- 対象者 農業で生計維持を図ろうとする新規就農者、認定農業者など
- 補助上限 施設：50万円、資材：25万円

✔ 農業用機械導入支援事業

- 支援内容 50万円以上の農業用機械の導入費用の1/2を補助
- 対象者 農業で生計維持を図ろうとする新規就農者、認定農業者など（機械により生産規模の要件あり）
- 補助上限 50万円

✔ 地域農業担い手支援事業

- 支援内容 定年帰農者が経営計画に基づき導入する農業用機械や生産資材の導入費用の3/4を補助
- 対象者 満50歳以上満69歳以下の認定シニア就農者（シニア就農者農業経営計画の認定を受けた就農者）
- 補助上限 150万円

✔ 鳥獣被害防止対策事業

- 支援内容 鳥獣による農作物被害防止するため、農地に防護・電気柵を設置する費用（人件費除く）を補助
- 対象者 鳥獣の食害等により農作物に著しい被害を受けている農業者など
- 補助率・上限 個人（販売農家）：1/2以内・10万円 団体：1/2以内・50万円など

✔ 果樹産地化推進事業

- 支援内容 ①改植・高接・新植にかかる経費、②改植・新植後の未収益期間4年間の栽培管理経費を補助
- 対象者 販売実績がある農業者、新規就農し販売目的で栽培に取り組む農業者など
- 補助率・上限 ①改植・高接・新植：3/4以内・150万円 ②栽培管理経費：20万円/10a

住田町の支援

施設・資材を導入したい

✔ 担い手農業者経営支援対策事業

- 支援内容 新規就農者の農業経営に関する経費の1/2を補助（補助対象期間は個人・団体・年齢等で変動）
- 対象者 農業で生計維持を図ろうとする新規就農者
- 補助上限 年間100万円（個人の場合、最初の2年間のうち、1年間は100万円。他の期間は50万円）

✔ 農業機械等導入支援事業

- 支援内容 20万円以上の農業用機械の導入費用の2/3を補助
- 対象者 農業で生計維持を図ろうとする新規就農者、認定農業者など
- 補助上限 300万円

✔ 農業生産振興事業

- 支援内容 基幹作物や振興作物の作付拡大や新規導入に関する経費、新技術導入等に要する経費を補助
- 対象者 農業で生計維持を図ろうとする新規就農者、認定農業者など

✔ 畜産堆肥利用促進事業

- 支援内容 堆肥購入、運搬及び散布に要した経費の1/2を補助
- 対象者 1トン以上の堆肥を散布する者、グループなど
- 補助上限 1トン当たり4,000円または、補助対象経費の1/2の額のいずれか低い額

農産物加工に取組みたい

✔ 特産品開発事業

- 支援内容 住田町の特産品となるような農畜産物の加工品開発に係る経費を補助（1年目2/3、2年目1/2）
- 対象者 農業で生計維持を図ろうとする新規就農者、認定農業者など
- 補助上限 1年目100万円、2年目50万円

※ この資料に記載されている支援を受けるためには、上記以外にも条件・募集期間・募集人数などがありますので、各市町村・大船渡農業改良普及センターへお問合せください。

けせん地方就農ガイド

お問合せ

大船渡市 農林水産部 農林課 農政係

- TEL 0192-27-3111 (代表)
- Mail ofu_nourin@city.ofunato.iwate.jp

陸前高田市 地域振興部 農林課

- TEL 0192-54-2111 (代表)
- Mail nourin@city.rikuzentakata.iwate.jp

住田町 農政課 農業振興係

- TEL 0192-46-3861
- Mail nousei@town.sumita.iwate.jp

岩手県 大船渡農業改良普及センター

- TEL 0192-27-9918
- Mail CE0021@pref.iwate.jp

発行 大船渡地方農業振興協議会

私たちは、岩手県・大船渡市・陸前高田市・住田町・JAおおふなと等で構成する団体です。

報道機関への情報提供

項 目	「防災減災を学ぶ現場見学会」について
日 時	令和5年11月20日（月） 9：20 ～ 11：30
場 所	陸前高田市及び住田町
内 容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【趣旨】 住田町教育委員会が取り組む地域創造学習の一環として、有住小学校の児童を対象に、自然災害についての理解を深め、災害に強い安全安心なまちづくりを行うことの大切さを実感して頂くために、水災害や土砂災害、津波災害の対策に係るインフラ施設の現場見学会を開催しますので情報提供します。</p> </div> <p>1 主催者 住田町立有住小学校、住田町教育委員会 ※住田整備事務所を含む土木センターの職員は、各現場の説明役として係ります。</p> <p>2 対象者 住田町立有住小学校の4年生 8名</p> <p>3 参加者及び説明者等 住田町立有住小学校 住田町教育委員会 沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター河川港湾課 沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター住田整備事務所</p> <p>4 見学スケジュール ① 9：20 ～ 9：40 気仙川水門（二級河川気仙川：陸前高田市） ② 10：10 ～ 10：30 昭和橋 ※施工途中（二級河川気仙川：住田町） ③ 10：50 ～ 11：30 成沢砂防堰堤（金成の沢：住田町）</p>
取材時の留意点	悪天候等によりスケジュールを変更する場合があります。
問合せ先	沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター住田整備事務所 次長 砂川 智、主任主査 小林 秀人 (電話：0192-22-8182)

① 津波対策 ▶ 気仙川水門（気仙川/陸前高田市）



② 洪水対策 ▶ 昭和橋（気仙川/住田町）



③ 土石流対策 ▶ 成沢砂防堰堤（金成の沢/住田町）

